

ほら あなたのすぐ隣に 自然がある

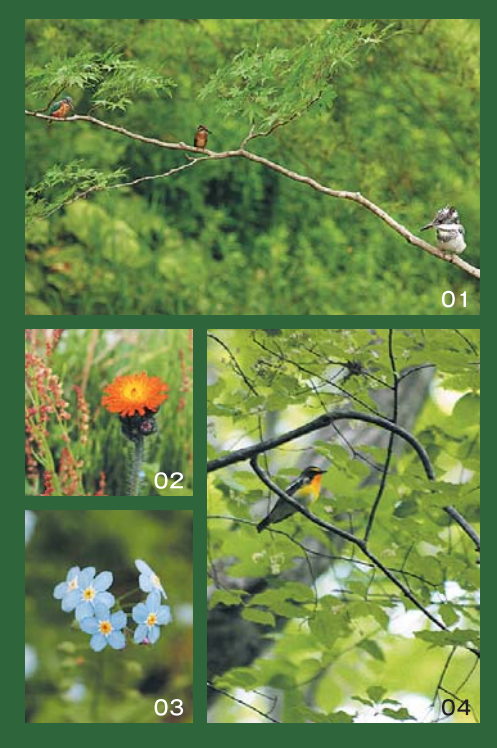
自然のすばらしさを
世界に誇りたい

私たちは、豊かな自然の
すぐ近くで暮らしています。
あまりに身近すぎて、その
ありがたみを実感することは
少ないかもしれません。が、
世界に誇れる環境といえ
ます。例えば、人口190万人
の北海道札幌市では住宅地
のすぐそばに自然が広がっ
ていますが、そのひとつ、真駒内
公園の林にはさまざまな
野鳥が集まり、さらにエゾ
モモンガまでが生息して
います。あなたのそばにも
同じような自然が、きっと
あるはずですよ……。

私たちの暮らしは
森林に支えられている

豊かな自然をはぐくんで
いる森林。二酸化炭素を吸収
し、地球温暖化防止の重要な
役割を担っています。また、
緑のダムと呼ばれるように、
ミネラル豊富な水を供給し、

食糧基地と呼ばれる大地や、
北から南までの町を潤し、
海へと流れ出して豊かな
漁場をつくり出します。世界
遺産・知床はその自然の営み
が凝縮した場所といえる
でしょう。自然に支えられて
いる、いっしょに、自然なくしての
暮らしは考えられません。



01: カワセミとヤマセミ
02: コウリンタンゴボ
03: エゾムラサキ
04: キビタキ



「地球にやさしい・エコプロジェクト」ウェブサイト <http://www.hokkaido-eco.jp>

hokkaido-eco 検索

企画制作／北海道新聞社広告局 後援／環境省



山口緑地にカミネッコンを植樹 (2008年)

カミネッコンによる植樹活動で、
地球を守る森づくり。

ホーマックは、2007年に北海道大学
名誉教授の東三郎先生が提唱する
カミネッコンと出会いました。土を掘る
必要がない手軽さと、90%以上の高い
活着率が特長のカミネッコンによる植樹
活動を、地域の皆さまとともに始め
ました。10数種の樹種が入り交じった
雑木林にやがて野鳥が集まり、種を
落とすことによって新しい木を育み、
森として成長していく。そんな日を思い
描きながら活動を進めています。



「花フェスタ2008札幌」でのカミネッコンづくり

都会でもできる植樹活動。
身近な公園から山林の再生まで。

昨年、ホーマックは札幌大通公園の
「花フェスタ」会場にカミネッコン
コーナーを開設。お子さま、高齢者
の方、全国から観光で訪れた方などの
参加を得て、1200個ものカミネッコン
をつくっていただきました。山に入らず
とも、都会の真ん中でできる植樹活動
です。また、植樹地は札幌の山口緑地
という公園や、西興部村の石灰採掘で
緑を失った山など、身近な場所から深い
山の中まで多岐にわたっています。



野鳥が集まる森へ。 木々とともに、ホーマックの思いも 育っています。

カミネッコン
カミネッコンは、再生段ボールでつく
られた組み立て式のポット。培養土と苗木
を入れて2〜3か月育て、植樹する場所に
置く。苗木の根は段ボールに守られなが
ら地中に根付き、段ボールは徐々に土に
分解されます。

花フェスタ2009札幌 (6月27
日〜7月5日)・大通公園会場の
ホーマックブースでカミネッ
コンづくりが体験できます。

第2回「きれいな川と暮らそう」基金、今年もはじめます。

あなたの身近なところでも、
役立てられています！

河川愛護団体 リバーネット21ながめま (北海道地区)

ゴミ拾いや水防訓練をおこない、
川と接する機会を設けることで、
水防活動の大切さを学びます。

トップといっしょに、 川をきれいにする活動を支援しよう！

昨年度は、総額1218万6257円。あなたがトップを買えば、川をきれいにする基金が広がります。
トップは、いちばん身近な水環境である「川」について考え、ふれあい、そして、もっと親しんでもらうために、
(社)日本河川協会を通じて、売り上げの一部を河川の環境を守る活動に役立てています。

●川をきれいにする運動は、全国に広がっています。

●エコアクション No.1 (北海道地区) 北海道中標津農業高等学校	●エコアクション No.3 (東北地区) NPO法人 いわき環境研究室	●エコアクション No.4 (北陸地区) 村上市立金屋小学校	●エコアクション No.5 (関東地区) NPO法人 五里トゲツの会	●エコアクション No.6 (関東地区) 余程川流域連携ネットワーク
●エコアクション No.7 (関東地区) 三波川に石を戻す会	●エコアクション No.8 (関東地区) NPO法人 八千代オikos	●エコアクション No.9 (関東地区) NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会	●エコアクション No.10 (関東地区) 拍江水辺の楽校運営協議会	●エコアクション No.11 (関東地区) NPO法人 鶴見川流域ネットワーク
●エコアクション No.12 (関東地区) 静岡県立静岡農業高等学校	●エコアクション No.13 (関東地区) NPO法人 グラウンドワーク三島	●エコアクション No.14 (関東地区) NPO法人 魅力発見木曾三川	●エコアクション No.15 (関東地区) NPO法人 木曾川文化研究会	●エコアクション No.16 (近畿地区) 奈良教育大学附属中学校
●エコアクション No.17 (中部・四国地区) 華仕橋かもクラブ	●エコアクション No.18 (中部・四国地区) 波川まちづくり委員会	●エコアクション No.19 (中部・四国地区) 芦田川環境マネジメントセンター	●エコアクション No.20 (九州地区) 筑後川まるごと博物館運営委員会	●エコアクション No.21 (九州地区) 縫ノ池湧水会
●エコアクション No.22 (九州地区) 波佐見・緑と水を考える会	●エコアクション No.23 (九州地区) リバーフェスタのべおか実行委員会			

あなたの大好きな川、思い出に残る川、そして、これからの未来において、こんな
川があったらいいなと思う川を自由に1枚の絵に表現してください。とっておきの
1枚の絵を描くことから、日本の川をきれいにする第一歩をはじめてみませんか？

9/4 締切